

平成29年第16週 県中保健福祉事務所感染症レター

	福島県		県中地域				岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第16週	第15週	第16週		第15週													
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報														
インフルエンザ	648	589	112	139	161	147	63	73	69	66	1	14	1	18	48	52	91	63
咽頭結膜熱	20	12	1	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	4	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	130	120	7	0	10	0	4	0	7	0	0	0	0	0	3	0	3	0
感染性胃腸炎	201	172	43	33	39	12	37	16	27	3	0	9	0	3	6	8	12	6
水痘	18	8	4	6	0	3	4	4	0	0	0	1	0	3	0	1	0	0
手足口病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	7	11	2	0	2	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0
突発性発疹	38	36	9	0	6	0	6	0	5	0	0	0	0	0	3	0	1	0
百日咳	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	10	15	1	2	6	2	0	1	0	2	0	0	0	0	1	1	6	0
RSウイルス感染症	8	12	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0
流行性角結膜炎	14	15	0	0	0	0	0	0	0	0		0		0		0		0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

ゴールデンウィークに海外へ渡航される皆さまへ！

全国的に麻しん患者が増加しています。海外で麻しんに感染し、日本国内に持ち込む例が多く報告されています。海外で麻しんに感染することのないよう注意してください。



麻しんとは

- ★麻しん（はしか）は、麻しんウイルスによって起こる病気です。その感染力はウイルスの中で**最も強く**、麻しんを発症している人と同じ部屋にいるだけで感染することがあります。
- ★ウイルスに感染した患者に直接さわったり、その患者の**咳やくしゃみ**に含まれるウイルスを吸い込むことで感染します。

症状

- ★感染して10~12日の症状のない期間があった後、**高熱、咳、鼻水、目の充血**が数日間持続します。その後、口の中に小さな**白い発疹**、体中に**赤い発疹**ができます。

予防方法

- ★麻しんは手洗い、マスクなどでは十分な予防ができません。
- ★感染予防には、**予防接種**が有効です。効果を確実にするためには**2回の接種**が重要です。
- ★定期の予防接種は**1回目**が**1歳児**、**2回目**が**小学校入学前の1年間**です。海外では、麻しんだけでなく、風しんも同時に流行しているため、ワクチン接種を受けていない場合には麻しん風しん混合ワクチンの接種がすすめられます。
- ★麻しんにかかったことがない方が海外渡航される時には、あらかじめ麻しんの予防接種歴を確認し、麻しんの予防接種を2回受けていない場合、又は接種既往が不明の場合には予防接種を受けましょう。

★詳しくは厚生労働省検疫所のホームページをご覧ください
厚生労働省検疫所 FORTH : <https://www.forth.go.jp/>

この情報に関するお問い合わせ先: 県中保健福祉事務所 医療薬事課 感染症予防チーム
TEL: 0248-75-7818 E-mail: kenchu_kansensyoyobou@pref.fukushima.lg.jp